



“日本女性会議2017とまこまい”に参加しました！

大会名 日本女性会議2017とまこまい(北海道苫小牧市)
 テーマ 北の大地で語ろう これからの未来の一步を

小山市では、男女共同参画の実現と女性の活躍推進に向けた新たなチャレンジを目指す女性を支援しています。男女共同参画では国内最大となる会議「日本女性会議」の参加者を公募したところ、今回2名の女性が参加しました。

【10月13日(金)】

特別揮毫・講演 「ちがいはかけがえのない個性～ダウン症の娘と共に生きて～」

：金澤 泰子氏(東京芸術大学評議員・日本福祉大学客員教授)・金澤 翔子氏(書家)

ダウン症の書家 金澤翔子さんの揮毫(きごう：毛筆で文字や絵をかくこと)と、母 泰子さんの講演では「死を考えるほど不幸と思えたことも、頑張っ生きていけば悔いのない人生に変わることも大いに有り得る」という言葉が印象的でした。



記念講演「夢見る力～つながる幸せ～」：渡辺 えり氏(劇作家・演出家・女優)

渡辺さんから「何歳になっても憧れや夢を持ち続けることで人生がいかに楽しく送れるか」とメッセージをいただきました。また、開催地である苫小牧市の実行委員長(81歳)の凛として歩く姿と「何かを始めるには、年齢で決める必要はない」という明快な回答に、私にもまだ可能性がある、頑張ろうと決意を新たにしました。

【10月14日(土)】

分科会：災害「災害時に生きる私たちの生き方 ～「防災女子」は避難所を救う～」

私は、小山市の男女共同参画の一環として誕生した小山市女性消防団員です。地域の安全安心について、一般人としてできること、女性としてできること、消防団員としてできることを考えていたところでした。

「さすけなぶる」という研修に興味があり、今回参加し体験してきました。「さすけなぶる」とは、「㊟さりげなく・㊟素早く・㊟けむたがらず・㊟ないものねだりしない・㊟ふるさとのような感覚でいられるために」という、災害救護所にいるリーダーやスタッフの態度と行動の基本を学ぶものです。ゲーム形式で学ぶとはいえ、参加しているメンバーは真剣に意見を交わし合い、「地域のリーダーとなった時はどうするか」をグループごとに話し合い、発表し合いました。常日頃から、災害や緊急時に備え意識をしておくこと、地域と関わって生活することの大切さをあらためて勉強させていただきました。



「日本女性会議」：全国から約2,000人が集い、男女共同参画社会の実現に向けて課題の解決策を探るとともに、参加者相互の交流促進や情報ネットワーク化を図ることを目的に毎年開催されています。次回の開催は平成30年10月12日から石川県金沢市で開催予定です。小山市では、公募による参加者を募集します。詳しくは、4月号の広報小山、市男女共同参画課のホームページをご覧ください。